

①

**Q: Have you ever accepted a Japanese student before?**

あなた方は以前日本人学生を受け入れたことがありますか。

**A: No. This is our first time to have an Asian student.**

いいえ。アジアの学生を受け入れるのは今回が初めてです。

**Yes. We had a young woman stay with us last year.**

はい。昨年私たちの所に若い女性が滞在しました。

**注** この have + 人 + 原形不定詞 [動詞の原形] は「人が～するのを経験する」の意味です。

②

**Q: Do you mind if I call you “Mom” and “Dad”?**

あなた方を「お母さん」と「お父さん」と呼んでも構いませんか。

**A: Whatever you are comfortable with.**

何でもあなたが呼びやすいのでどうぞ。

**Please don't. Call us Meg and Pat.**

それはやめて下さい。私たちのことをメグとパットと呼んで下さい。

**注** whatever 「～するものは何でも」。comfortable ②「心地よく思う、くつろいだ、気楽な」。uncomfortable ②「心地よくない、不安にさせる」

3

**Q: Is there anything (that) I should know about my room?**

私の部屋のことで何か知っておくべきことはありますか。

**A: Nothing special, but just ask if you have any questions**

特に何も無いけれど、まあ、何か質問があったら聞いて下さい。

4

**Q: How should I clean my room?**

私は部屋をどのように掃除すべきですか。

**What should I clean my room with?**

私は何で私の部屋を掃除すべきですか。

**A: There's a broom in the kitchen and a vacuum in the hall closet.**

台所にほうきが、そして廊下のクローゼットに掃除機があります。

**Use whichever you want.**

どちらでも使いたい方を使って下さい。

■注 vacuum ◎「電気掃除機 (vacuum cleaner)」。whichever 「～するものはどれ [どちら] でも。whenever 「～する時はいつでも」

## (日用品)

靴べら	shoehorn	耳かき	earpick
爪切り	nail clippers	綿棒	Q-Tip [cotton swab]
電気掃除機	vacuum (cleaner)	体重計	scales
床ふき雑巾	floorcloth	消臭芳香剤	deodorant
ボロ切れ	rag		[deodorizer]
ほうき	broom	殺虫剤	bug spray
じゅうたん	carpet		[insecticide]
洗濯機	washing machine	防虫剤	mothballs
脱水機	spin dryer	はたき	duster
乾燥機	(clothes) dryer	輪ゴム	rubber band
洗剤	(laundry) detergent	ゴミ箱	garbage can [trash can]
			[fan]
石けん	soap	扇風機	fan
漂白剤	bleach	練り歯磨き	toothpaste
洗濯バサミ	clothespin	加湿器	humidifier
アイロン	iron	浄水器	water purifier
洗濯ひも	clothesline	つまようじ	toothpick
アイロン台	ironing board	懐中電灯	flashlight
ちり取り	dustpan	デジタルカメラ	digital camera
ミシン	sewing machine	電子辞書	electronic dictionary
針	needle	砂時計	hourglass
糸	thread	コーヒーメーカー	coffee maker
ボタン	button	卓上スタンド	desk lamp
枕	pillow	本棚	bookcase
枕カバー	pillowcase		[bookshelf]
敷きぶとん	mattress	電球	light bulb
毛布	blanket	蛍光灯	fluorescent light
キルト	quilt	書斎	study, den
羽布団	down quilt	リモコン	remote control
バケツ	bucket	手帳	(pocket) notebook
目覚し時計	alarm clock	ビデオカメラ	video camera
エアコン	air conditioner	ペンチ	pliers
暖房器、ヒーター	heater	ねじ回し、ドライバー	screwdriver
流し、洗面台	sink		
洗面器	basin [washbowl]	のこぎり	saw
蛇口	faucet	ポット	pot
電気かみそり	shaver	水筒	canteen
かみそり、電気かみそり	razor	じょうろ	watering pot
		たんす	bureau

5

**Q: What time do I need to be up for breakfast?**

朝食を頂くのに何時に起きたらいいですか。

**A: Breakfast will be at 7:00, so please get up before then.**

朝食は7時ですから、その前には起きて下さい。

**注** be up 「起きている」

6

**Q: What should I do with my laundry?**

洗濯物はどうしたらいいですか。

**A: We do the laundry on Saturday morning, so please keep it until then.**

私たちは土曜日の朝に洗濯をしますので、その時まで（あなたの洗濯物を）ためておいて下さい。

**Feel free to do the laundry whenever you wish.**

洗濯をしたい時にはいつでも遠慮なくして下さい。

**注** laundry ①「〈集合的に〉洗濯物」。②洗濯 (washing)。feel free to ~ 「遠慮なく~する、自由にする」

7

**Q: May I use your iron and ironing board?**

アイロンとアイロン台を使っていいですか。

**A: Sure. They are in that closet.**

もちろん。あのクローゼットの中にあります。

8

**Q: What time should I be [home]?**

私は何時までに帰宅すればいいですか。

**A: Please be in by 8:00 on weekdays and midnight on weekends.**

平日は8時までに、週末は12時までには帰って来て下さい。

**注** be in 「在宅している、家にいる」

9

**Q: What time may I take a shower?**

シャワーは何時に浴びたらいいですか。

**A: You can shower whenever you like.**

いつでも好きな時にシャワーを浴びていいですよ。

**注** shower ④「シャワーを浴びる」

10

**Q: How late can I take a shower?**

どのくらい遅くまでシャワーを浴びていいですか。

**A: Not after 10:30 because I go to bed early.**

私は早く寝るので10時半以降はやめて下さい。

**Just use your own judgment.**

まあ、ご自分の判断で [常識の範囲内で] お使い下さい。

11

**Q: Do you mind if I sometimes use the bathtub?**

ときどきバスタブを使っても構いませんか。

**A: Of course that is all right.**

もちろんいいですよ。

12

**Q: May I leave my toothbrush and some other things in the bathroom?**

バスルームに歯ブラシやいくつか他の物を置いておいていいですか。

**A: Yes. We cleared a shelf next to the mirror for you.**

はい。鏡の隣の棚をあなたのために空けました。

13

**Q: How do you share the housework?**

あなた方はどのようにして家事を分担していますか。

**A: Mother cooks, washes the dishes, and cleans the rooms.**

母は料理と皿洗いと部屋の掃除をします。

**Father takes out the garbage. I take care of my room.**

父はゴミを出します。私は自分の部屋を管理します。

14

---

**Q: What can I do to help?**

私はお手伝いするのに何をしたらよいでしょうか。

**A: Please take out the garbage in place of Father, and clean your room.**

お父さんの代わりにゴミを出して、自分の部屋を掃除して下さい。

15

---

**Q: How late can I use the telephone at night?**

電話は夜どのくらい遅くまで使っていいですか。

**A: Since the rates are lower at night, any time after 8:00 is OK.**

夜は料金が安くなるので、8時以降ならいつでもいいです。

16

---

**Q: Would it be all right to make international calls?**

国際電話をかけてもいいですか。

**A: Sure. Do you know how?**

もちろん。どのようにかけるか知っていますか。

**That's fine. Do you need any help?**

いいですよ。何か助けは要りますか。

17

**Q: How should I pay you for my telephone calls?**

私がかけた電話代はどうやってお支払いしたらいいですか。

**A: We'll let you know how much they are when the bill comes.**

請求書が届いたら、いくらかお知らせします。

18

**Q: May I use the kitchen freely?**

自由に台所を使っていいですか。

**A: Yes, but you must clean up after yourself.**

はい、でも使用後はきれいにしなければいけませんよ。

19

**Q: Do I need to sort out the burnable garbage from the unburnable garbage?**

燃えるゴミと燃えないゴミを分類する必要がありますか。

**A: Yes. Cans go in this box, glass in this one and burnables go in that one.**

はい。カンはこの箱で、ガラスはこの箱で、燃えるゴミはあれに入れます。

**注** sort out ~ 「~を分類する」。burnable ㊦「燃える」 ㊧「燃えるもの〔ごみ〕」



20

**Q: What time do you usually have dinner?**

あなた方はたいてい何時に夕食を食べますか。

**A: Dinner is always served at 6:30.**

夕食はいつも6時半に用意ができます。

**We usually have dinner between 6:00 and 7:00.**

私たちはたいてい6時から7時の間に夕食を食べます。

**注** serve ④「〈飲食物〉を出す」

21

**Q: Could you show me how to make my bed?**

ベッドメイキングの仕方を教えていただけませんか。

**A: Sure. Come on.**

いいですとも。いらっしゃい。

22

**Q: What kind of clothes do I need to wear to church on Sundays?**

日曜日には教会にどんな服を着ていく必要がありますか。

**A: You'll need nice casual clothes.**

あなたはすてきなカジュアルな服が必要でしょう。

**Our church is rather formal. Men wear jackets and ties and women wear dresses.**

私たちの教会はどちらかというとフォーマルです。男性はジャケットとネクタイを着用し、女性はドレスを着ます。

23

**Q: What shall we do for fun?**

何をして遊ぼうか。

**A: Let's do a jigsaw puzzle.**

ジグソーパズルをしよう。

24

**Q: What do you want to do next?**

次に何をしたい？

**A: Let's play hide-and-seek.**

かくれんぼをしよう。

### (子供の遊び)

シャボン玉を飛ばす	blow bubbles
かくれんぼをする	play hide-and-seek
あやとりをする	play cat's cradle
お手玉をして遊ぶ	play with beanbags
鬼ごっこをする	play tag [catch]
宝探しをする	have a treasure hunt
コマを回す	spin a top
花火をする	play with fireworks
なわとびをする	play jump rope [jump rope]
かけっこをする	have a (foot) race
トランプをする	play cards
ジグソーパズルをする	do a jigsaw puzzle
凧をあげる	fly a kite
椅子取りゲームをする	play musical chairs
積み木で遊ぶ	play with blocks
風船をふくらませる	blow up [inflate] a balloon
ままごとをする	play house
じゃんけんをする	play rock-paper-scissors
腕立て伏せをする	do push-ups
懸垂をする	do chin-ups [pull-ups]

## ■ 米国の大学のキャンパスライフ

### ① 履修科目選び

毎学期履修する科目は、学校が発行している履修要項を見て、自分で何の科目を何単位取るかを決めます。また全部で何単位取るかも自分で決めます。自分で決められない場合には学生アドバイザーに相談すると、自分の専攻するコースで要求されている科目を取っているか、授業の取り方はハード過ぎないかなど、親身で適切なアドバイスをしてくれます。

また、友人や先輩に授業について尋ねるとアドバイザーには聞きづらいことも教えてくれます。例えば、某教授のクラスはAを取りやすいか、宿題の量が多いか少ないか、授業は講義形式かディスカッション形式か、レポートの有無、pop quiz（抜き打ちテスト）の頻度など、具体的で実際に役立つ情報を得ることができます。

暗記科目ばかり取ると、予習、復習、テスト勉強にかなりの時間を要しますので、数学、体育などを織り交ぜて履修することをお勧めします。

実際に授業を受けてみたら自分の期待していた内容とは違っていたり、レベルが合わないということがあります。そのような場合のために新学期の始めには科目を変更する期間（Drop & Add period）が設けられており、この期間であれば履修を途中で止めたり、別の科目を登録することが出来ます。留学生は1学期に最低12単位は履修しないと正規の学生と認められず、ビザが失効してしまいますので十分に注意して下さい。

## ②成績 (Grades)

欧米の大学では一般に、学生の成績を評価するのに GPA (Grade Point Average) という評価方法を採用しています。各科目の評価を次の5段階に分けます。

A (90 ~ 100 点)	優 (最も良い)	4 単位
B (80 ~ 89 点)	良 (平均以上)	3 単位
C (70 ~ 79 点)	可 (平均)	2 単位
D (60 ~ 69 点)	準可 (平均以下)	1 単位
F (50 ~ 59 点)	不可 (不合格)	0 単位

GPA は各科目の評価に単位数を掛けて足した合計点を総単位数で割って算出します。

大学を卒業するためには通算の GPA が 2.0 以上であることが必要とされます。また、大学院に進学するためには基本的に B 平均以上が求められますが、留学生が GPA で 3.0 以上を取るのとはなま易いことではありません。1 セメスター [半年] の標準的な履修単位数は、最低 12 単位、最高 18 単位とされています。

## ③テキストの購入

授業で使用するテキストは科目ごとの教科書リストを見て、学内のブックストア (大学生協) で購入します。ブックストアには、テキストが専門別に並べられており、学生たちはテキストのタイトルや科目のコード番号を手がかりに指定されている本を探します。アメリカの大学のテキストはハードカバーで分厚くて立派なものが多いので値段が高いです。そこで学生たちは「USED」というシールが貼られている中古のテキストを買います。

中古のテキストでもあまり書き込みがなく傷んでいなければ、ブックストアで買い取ってもらえます。私は留学をしていた時、試験が終わり不要になったテキストはほとんどブックストアで売却してしまいましたが、自分の専門の科目のテキストと特に苦勞した科目のテキストは取っておき、今でもときどきそれらを参考にしたり、ペラペラとページをめくっては昔を回想したりしています。

最近では、中古のテキストをブックストアに行かず、Amazonなどのオンライン書店で買う学生の方が多くなってきました。新品のテキストも定価より安く購入できます。

#### ④ シラバスと出席

どの科目も最初の授業ではオリエンテーションがあり、教授が自己紹介をし、「シラバス (syllabus)」という「講義要項」を配布し授業について説明します。シラバスには、授業の目的と概要、教授のオフィスの場所・オフィスアワー・電話番号・E-mail アドレス、授業の進行スケジュール、使用する教材と参考図書、評価方法、試験の日程・回数・内容、宿題・課題、レポートの有無、出席に関する規定などが記されています。

シラバスは学期の間、何度も参照しますので、コピーを取ってノートに貼っておくとか、クリアファイルに入れておくなどして紛失しないように注意して下さい。最近では多くの教授がインターネット上でシラバスを公開していますので、履修しようか迷っている授業があったら、大学のホームページにアクセスしてシラバスを見て検討することが出来ます。

アメリカの大学は、授業に出席することをとても重要視し、シラバスにはよく「出席は必須」と書かれています。欠席をすると授業についていけなくなる、pop quiz (抜き打ちテスト) を受け損なう、試験についての情報を聞き逃すなどの可能性がありますので、病気などの

特別な場合を除いては必ず授業に出席して下さい。特に小さなクラスでは授業への参加度 (class participation) も加味して、評価が下されますので、授業に参加しないと成績にかなり影響します。欠席をする場合には、教授にEメールや電話で連絡をし、後日オフィスアワーにオフィスに行き、疑問点を尋ねたり、授業のポイントや課題を伺いましょう。

## ⑤ 図書館とコンピュータ

勉強は寮の自室ですることもできますが、誘惑するものがたくさんある、ルームメイトが気になる、周りがうるさいなどの理由で集中して勉強できない場合があります。それに対して、図書館は、静かに集中して勉強できる、リサーチペーパーや論文を書く際に参考にできる文献が多数備わっている、他の人が頑張っているのを見て刺激を受けて自分も頑張れると言ったいいことづくめですので、勉強は図書館ですることを絶対お勧めします。

アメリカの図書館は平日は夜中まで開いています。試験期間中は24時間開いている所もあります。私は大学生の頃、夕食後、大体7時から12時まで図書館で勉強するのが日課でしたが、静かな環境で能率よく勉強した後はしばしば充実感を覚えました。

新入生のオリエンテーションの中には、たいてい図書館ツアーが組み入れられています。ツアーでは、本の検索方法、書棚がどのように分類されているか、本の貸出し方法・期間、設備などの説明やスタッフの紹介などが行われます。効率よくリサーチペーパーや論文が書けるように分からないことは遠慮しないで、司書 (librarian) に聞いて、できるだけ早く上手に図書館を利用する方法をマスターしましょう。

米国の大学生活ではコンピュータを使えないと非常に苦労します。コンピュータはインターネットを利用してリサーチをしたり、Eメールで教授やクラスメートとやりとりをしたり、教授からの連絡をチェ

ックしたり、ペーパーを英文ワープロするのに使ったり、リサーチの結果をパワーポイントで発表したりと様々な目的で使われます。留学をする前に、英文ワープロ、エクセル、インターネット、パワーポイント、Eメールを使えるようにしておくことをお勧めします。

## ⑥寮について

大学の寮は、大きく男子寮 (men's dorm)、女子寮 (women's dorm)、男女共有寮 (co-ed dorm) の3つに分けられます。その他、上級生専用の寮や夫婦専用の寮、留学生専用の寮などもあります。

たいていの寮はキャンパス内にあるので通学に時間がかからず、図書館や大学生協などを利用するにも便利です。寮の部屋には、ベッド、クロゼット、机などが備わっているので、自分が用意する物は冷蔵庫、テレビ、電話機などと限られているので生活に必要な物を揃えるのが非常に楽です。また、食事を作る必要がないので、勉強に専念できます。

新入生の場合は、大学が事前に入る寮と部屋とルームメイトを割り当てます。2年生以降は気の合う仲のよい友達とルームメイトになることができます。

ルームメイトとはできるだけ早く、部屋や家具の使い方、電話料金の支払い方、シャワーを浴びる時間などのルールを決めましょう。また、生活をしていて不快に感じる事があれば、遠慮せずお互いに言い合うよう最初に決めておくとい良いでしょう。

アメリカ人の学生と一緒に生活すると、英会話力が伸びる、彼らの習慣・マナー・考え方などを学べる、困ったことがあったらすぐに聞ける、大学の授業についての情報交換ができるといった多くの利点がありますので、2年目以降も1人で暮らすのではなく、ルームメイトと寮やアパートで暮らすことをお勧めします。

寮にはたいてい、ビリヤード、卓球台、ゲーム機などがある娯楽室

やコンピュータールーム、自習室、エクササイズルーム、ラウンジ、洗濯室などがあり、快適に生活できるようになっています。各部屋には電話線がひかれていますので、電話機を自分で用意すれば、自室から電話をかけることができます。キャンパス内と市内は通話料が無料です。遠距離電話は小切手かクレジットカードで支払いをします。寮のコンピュータ室のコンピュータは校内LANで接続されていますので、大学から与えられるアドレスを入力すれば、プロバイダー料や通話料を気にせず自由に何時間でも使えます。

## ⑦教科書の予習 (Reading Assignment) について

米国の大学では、ほとんどの科目で毎回の授業で「次回の授業までに何ページから何ページまでを予習してきなさい」と読む宿題が課されます。1科目につき20～50ページくらい出されますので、1日に3科目受講している場合には60～100ページを読むこととなります。ディスカッション形式の授業では、学生が宿題をやってきてあるという前提で授業が進められますので、きちんと予習していかないとディスカッションに参加できなく、評価が悪くなります。

日本人は英文を「何々するところの何々」のように英語の語順を引っくり返して読む人が多いですが、その読解法では膨大な量の宿題をこなすことはできません。英文を日本語に訳さずそのままの語順で英語で理解する「直読直解」をすることが必要です。

また、アメリカの教科書は各章の章末に要約が載っていますので、まずその要約を読み、その後で本文に出てくる太字や大きい字、表、グラフ、図、写真などに目を通し、大意をつかんでから読み始めたほうが内容を理解しやすいです。

本文を読む時は、あまり重要でない所は飛ばし読み (skimming) をし、重要だと思われる所は精読するというように緩急をつけて読むとよいでしょう。知らない単語は逐一辞書で調べるのではなく、できる



だけ文脈で推測し、知らないと内容を理解する上で支障があると思われる単語のみ調べるとよいでしょう。電子辞書は瞬時に意味を調べられますので大変便利です。

予備知識があるものは英語で読んでも理解しやすいので、教科書と関連した内容のものをインターネットで調べ、まず日本語で予備知識を仕入れてから読むのも1つの方法です。

読む宿題の多い授業ばかりを取ると本当に大変ですので、数学、外国語、音楽、体育などあまり読む宿題が出されない科目も組み入れ、バランスよく履修できるように工夫しましょう。

## ⑧夏休みとサマースクールについて

米国の大学の夏休みは、大体5月下旬から8月下旬または9月上旬までで3か月以上あります。学生たちの夏休みの過ごし方は、実家に帰り次学年度の学資を稼ぐためにアルバイトをする、大学に残りサマースクールに参加する、旅行をするなど様々です。留学生の中には一時故国に帰国して、故国でアルバイトをして生活費を稼いで戻って来る人もいます。

サマースクールはたいてい、6月～7月の前期と7月～8月の後期の2期があり、いずれかまたは両方を受講できます。私の場合は、ほぼ毎夏、1期は授業を取り、もう1期は旅行をしました。サマースクールは1セメスターでやるものを短期間で集中的に勉強するので、1日に3時間、週5日（月～金）のようにかなりハードスケジュールで行われます。そのため、1期に1科目または多くて2科目を受講するのが普通です。サマースクールをうまく利用すれば3年～3年半で卒業することも可能です。

サマースクールだけ自分の在籍していない大学で受講することもできます。ハーバード大学のような名門大学でさえ、無審査で授業を受けられ、取得した単位は自分の大学の卒業単位に認められます。特に

将来、他の大学に編入することを考えている人は、編入先の大学のサマースクールに参加して、その大学の雰囲気や勉強するための設備、学生の勉強に対する姿勢、周囲の環境などを実際に自分で確かめてから、編入するかどうか決めるとよいでしょう。

## ⑨ 定期テストとクイズについて

米国の大学で各学期に行われる代表的なテストは中間テスト (mid-term examination)、期末テスト (final examination) と小テスト (quiz) です。

テスト期間中は図書館は勉強をする学生で大変混み合います。学生が時間を気にしないで集中して勉強できるように、この期間に限り、図書館の閉館時間を延長したり、24時間オープンにしたりする大学もあります。定期テストの結果は最終成績を決める際に大きく反映されるので、学生たちは好成績を取るために真剣にテスト勉強をします。期末テストには、中間テスト以降の内容のみが出題されるものと学期を通して学習した全ての内容が出題されるもの (comprehensive examination) の2種類があります。

定期テストの形式は教授や科目によって異なります。テスト形式は教科書を閉じて受けるテスト (closed-book examination)、教科書やノート、資料などを見ながら受けるテスト (open-book examination)、問題を自宅に持って帰り、指定日までに提出するテスト (take-home examination)、卒業の間近、学んだことを総合的に問われる口頭テスト (oral examination) の4種類があります。

クイズ (quiz) とは単語テストのように、授業の時間を少し割いて行なうような小テストのことです。外国語や数学のクラスではほぼ毎回行なわれます。予告なしに抜き打ちで行なわれるテストは pop quiz と呼ばれます。pop とは「急に言い出す」という意味です。pop quiz に対応するためには毎日地道にコツコツと復習するしかありません。